

厚生労働省神奈川県労働局発表
令和4年1月24日

担 当	神奈川県労働局労働基準部
	安全課長 千葉 幸則
	地方産業安全専門官 毛利 崇行
電話 045-211-7352	

令和4年年頭における

神奈川県労働局労働基準部長による製造業パトロールを実施

— 1月17日（月） アサヒビール株式会社 神奈川工場 —

神奈川県労働局（局長 川口 達三）では、令和4年を迎えるにあたり、今年における製造業の労働災害の更なる防止を図るため、神奈川県労働局労働基準部長による製造業パトロールを実施しました。

1 趣旨

神奈川県下の製造業における労働災害による休業4日以上死傷者数は、昨年（令和3年）12月末日現在1,019人と前年同期の862人に対し、157人増（+18.2%）と大幅に増加しており、労働災害の減少が見られない状況です。また死亡者数も7人（前年5人）と、2人増加しています。

また、一昨年来、新型コロナウイルスによる感染症予防対策の徹底も求められている状況です。

神奈川県労働局では、令和4年を迎えるにあたり、当局の井上労働基準部長が直接指揮をとり、製造業における労働災害防止対策を推進する趣旨で、安全衛生管理活動を積極的に取り組んでいる製造業事業所へのパトロールを実施いたしました。

パトロールによる確認結果は、下記のとおりです。

（1）新型コロナウイルス感染症予防対策

食堂における、手洗い手順の周知、座席のソーシャルディスタンス確保、食後の消毒の徹底

（2）転倒防止対策（通路の安全対策）

階段昇降時は手すりを保持するルールの徹底、扉に激突防止人感センサーの設置、靴底の摩耗状態がわかる「見える化」

（3）墜落防止対策

原料受入場におけるトラックからの墜落防止施設の設置、墜落制止用器具（安全带）の使用

（4）物流倉庫の自動化による安全対策

フォークリフト自動（無人）運転域とロボット稼働域に安全柵とインターロック扉の設置

（5）創意工夫ある安全衛生管理活動

改善提案活動「しょうなんかいがん」、安全優良者表彰の実施等

2 パトロールの概要

（1）日 時 令和4年1月17日（月） 13時30分から16時00分まで

（2）パトロール対象事業所 アサヒビール株式会社 神奈川工場（南足柄市怒田1223番地）

（3）実施者 神奈川県労働局職員計6名（労働基準部長、主任安全専門官、主任衛生専門官、安全専門官、小田原労働基準監督署監督官1名、平塚労働基準監督署監督官1名）

3 パトロールの状況写真



パトロールに先立ち、参加者が集
合し、打合せを行っているところ
です。

井上労働基準部長が工場担当
者とともにパトロールを行って
いるところです。



食堂では、少人数、ソーシ
ャルディスタンス、非対面の
座席配置により、新型コロナ
感染症予防対策を図っていま
す。

食堂に消毒キットを用意し、食事が終わったら各自使用したテーブルの消毒を行うようにしています。



扉の反対側に人がいるとき、扉の激突防止人感センサーにより、サインが点滅し、安全な通路が確保されています。

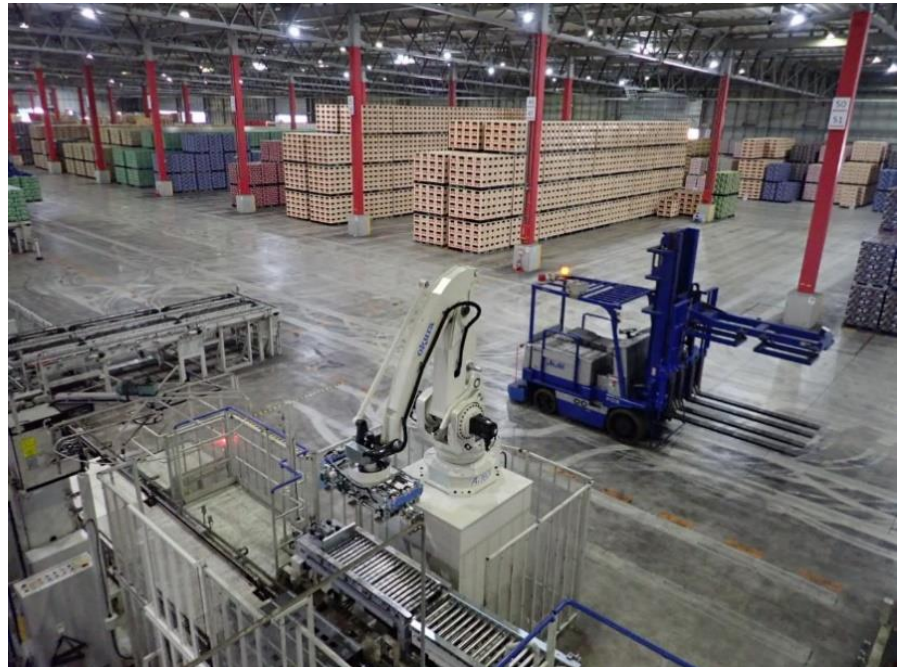
靴底の摩耗状態がわかる「見える化」に配慮した靴棚を設置し、転倒災害防止対策を図っています。





原料受入場でトラックからの墜落防止のため、垂直親綱、手すりを設置し、安全带使用を徹底しています。

物流倉庫の自動化による安全対策として、フォークリフト自動(無人)運転域とロボット稼働域を区画する安全柵とインターロック扉が設置されています。



通常のフォークリフト作業についても注意喚起の標示を行い、安全に作業を行っています。

創意工夫ある改善提案活動
「しょうなんかいがん（しょう
ぶ（チャレンジ）！なんでもか
いかく。がんばろう！）」に取り
組んでいます。



安全衛生表彰制度により、安
全衛生活動に対する意識高揚
に努めています。

3回表彰されると「レジェン
ド」の称号が与えられます。

掲示板（安全の象徴）に向か
い「安全ヨシ！」と指差呼称す
ると「今日も一日ご安全に！」
とコンピューターの音声により
返答があります。

全ての事故とケガを防ぐため
に、作業開始前に指差呼称を行
っています。

